

29年度子どもゆめ基金講座(No:1720290)実施報告書

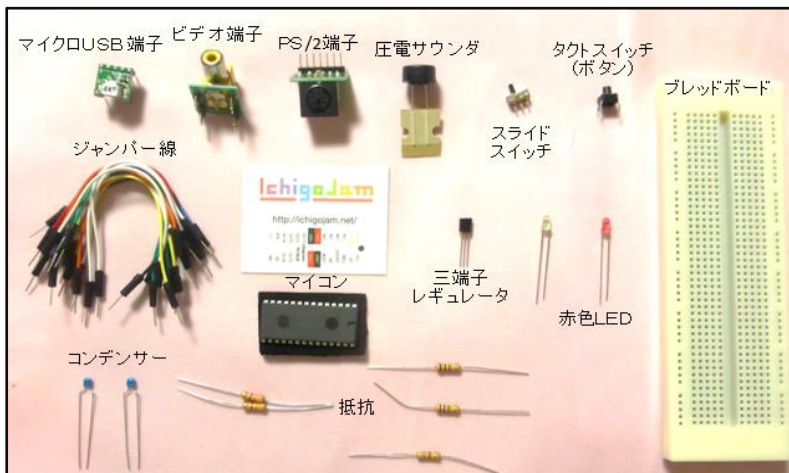
平成30年2月19日
電子自治体アドバイザークラブ
理事長 谷川義明

子ども向け「パソコン制作体験(IchigoJam)講座」を3箇所の地区公民館で実施した。子供ものづくりに関する関心も高まり、充実した体験教室を実施することができた。

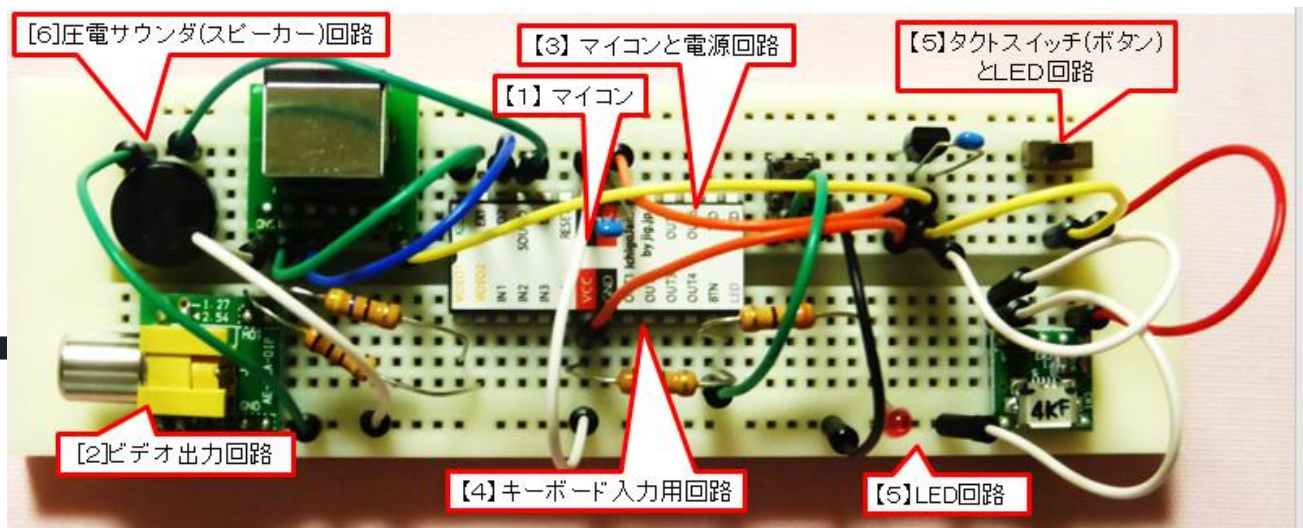
■「子どもパソコン制作体験:(イチゴジャムキット組立)」

実施日	地域の公民館	受講者	合計	講師	サポーター
29/10/8	橿原市 白檀地区公民館	小学高学年6名 保護者6名	12名	田中伸和	5名
30/2/4	橿原市 耳成地区公民館	小学生21名 保護者7名	8名	乾 佳	8名
30/2/14	奈良市 三笠地区公民館	小学5,6年12名 保護者/見学者8名	20名	西本進	6名

■イチゴジャムキット組立部品とロボカー



■イチゴジャムキット組立完成品



白檀地区公民館では、参加者が少なかったが、子ども達全員がプログラムを組んで動作させることができた。内容は非常に充実した体験学習であった。

耳成地区公民館では、子ども 21 名(兄弟姉妹、14 家族)の応募があり、可能な限り、部品をそろえて全員参加の 14 組のパソコン製作講座を実施できた。

奈良市三笠地区公民館において、昨年同じ講座を開催し、子ども達にも人気の講座となっており、応募が殺到した。今回は 60 名もの応募があり、その中から抽選で選ばれた 12 名が参加した。子どもによるバラつきはあったが、説明より先にテキストを見ながら組み立てて動かした子どもがおり、このテキストに従えば小学生でも一人で組み立てる事ができるほどテキストの完成度は高い事が実証された。12 名中 10 名の子どもパソコン IchigoJam が正常に動作させたが 2 名の 2 台は動かず、キーボードが動作しない(抵抗2個がテレコ)、LEDが点灯しない(LEDの足の長い方のテレコ)、2件の故障が有り、再チェックして動かすことができた。

テキストの完成度は高い！短時間で全員がキットを持って帰れたのは、テキストが充実してきたからと、サポートの支援があってサポートがスムーズに出来たからと感じた。全員自分のパソコンを喜んで持って帰った。これをきっかけにして電子工作やプログラミングに興味を持ってもらえた。

順調に子供たちは組み立てて行くので、見ていても楽しかった。

■教室風景

(1)29/10/8 橿原市白檀地区公民館



(2)30/2/4 橿原市耳成地区公民館





(3)30/2/14 奈良市三笠地区公民館

